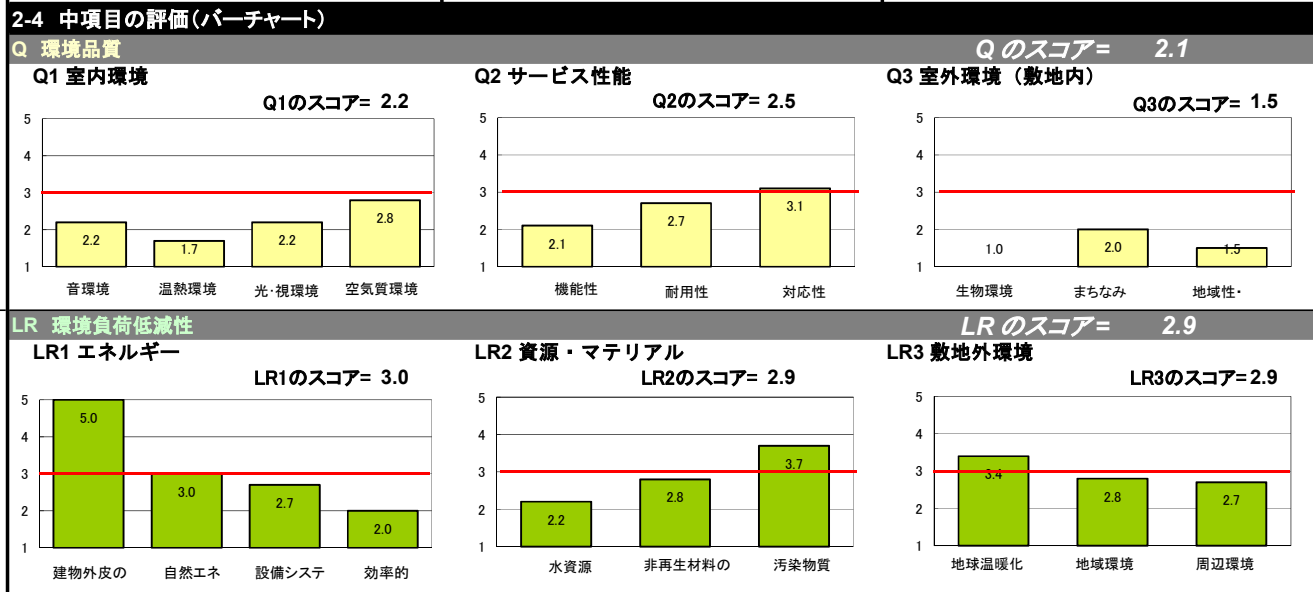
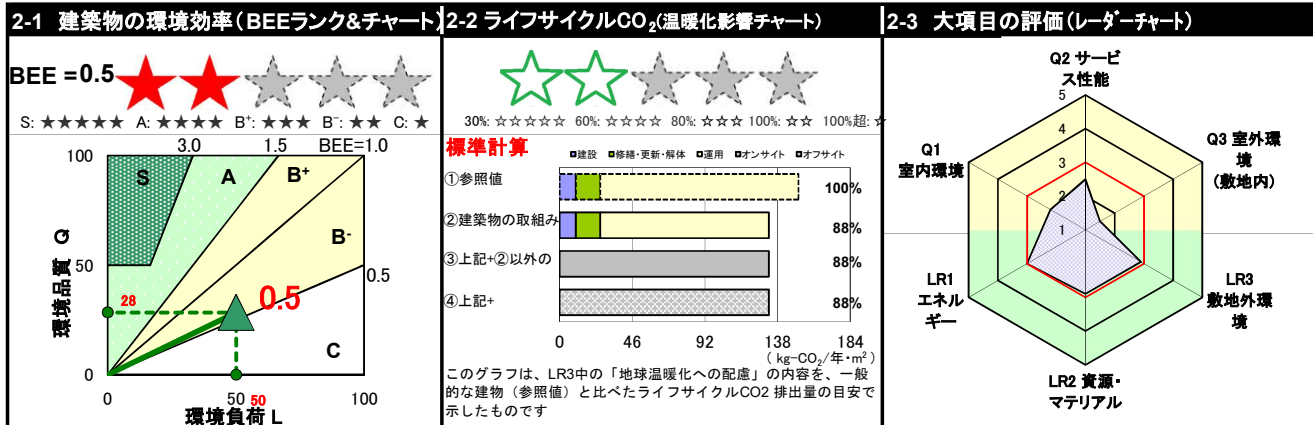


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	C&Cナカデンタルクリニック新築工	階数	地上2F
建設地	大阪府堺市南区小代131,132,134-2	構造	S造
用途地域	地域指定なし、防火地域指定なし	平均居住人員	30人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,960時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年7月 予定	評価の実施日	2022年2月7日
敷地面積	2,225㎡	作成者	横松宏明
建築面積	1,259㎡	確認日	2022年2月7日
延床面積	1,356㎡	確認者	中井正徳



3 設計上の配慮事項		
総合	利用者に配慮しF☆☆☆☆を採用している。	その他 特になし
Q1 室内環境	2.0% ≤ [昼光率] < 2.5%	Q2 サービス性能 給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している
Q3 室外環境(敷地内)		特になし
LR1 エネルギー	BPI <sub>m</sub> =0.70	LR2 資源・マテリアル 発泡剤を用いた断熱材等を使用していない
LR3 敷地外環境		ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率が、一般的な建物(参照値)と同等

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	C&Cナカデンタルクリニック新築工	階数	地上2F
建設地	大阪府堺市南区小代131,132,134-2	構造	S造
用途地域	地域指定なし、防火地域指定なし	平均居住人員	30人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,960時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年7月 予定	評価の実施日	2022年2月7日
敷地面積	2,225㎡	作成者	横松宏明
建築面積	1,259㎡	確認日	2022年2月7日
延床面積	1,140㎡	確認者	中井正徳

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.7** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 100%  
②建築物の取組み 57%  
③上記+②以外の 57%  
④上記+ 57%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア= 2.1

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.5

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア= 3.4

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
利用者に配慮しF☆☆☆☆を採用している。	特になし	
Q1 室内環境 2.0% ≤ [昼光率] < 2.5%	Q2 サービス性能 給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー 特になし	LR2 資源・マテリアル 特になし	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率が、一般的な建物(参照値)と同等

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	C&Cナカイデンタルクリニック新築工事	BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市南区小代131,132,134-2,134-6,136-1,136-2,882-9,882-10	0.5	B-
	主用途/延床面積	病院 / 2,496.15 m <sup>2</sup>		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO <sub>2</sub> 削減	4	●●●●●
みどり・ヒートアイランド対策	2	●●●●●
エネルギー削減	4	●●●●●
建物の断熱性	5	●●●●●
安全快適な暮らし	2	●●●●●
自然エネルギー利用	—	

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO <sub>2</sub> 削減	評価項目	スコア	評価点	
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.5	4	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	2	
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		1.0
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値		2.0
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値	3.0	
エネルギー削減	評価項目	スコア	4	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		3.8
建物の断熱性	評価項目	スコア	5	
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		5.0
安全快適な暮らし	評価項目	スコア	2	
	バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値		3.0
	耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値		3.0
	地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値		1.0
	交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値	3.0	
自然エネルギー利用	評価項目	スコア	—	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		3.0

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特になし。	
特に配慮した事項	
特になし。	